

全柔連発第 29-0660 号
平成 29 年 11 月 21 日

都道府県柔道連盟（協会）会長 各位
安全指導員 各位

公益財団法人全日本柔道連盟
重大事故総合対策委員会
委員長 野瀬清喜
(公印省略)

「初心者による頭部・頸部外傷事故に関する注意喚起」

平素より、当連盟事業にご理解、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

本年度は上半期に中学生・高校生による急性硬膜下血腫 2 件、頸髄損傷 3 件の報告がありました。これらの生徒たちは現在、懸命なりハビリに励んでおられます。

下半期に入り初心者の頭部頸部外傷 2 件が発覚いたしました。これらの 2 件はいずれも柔道を習い始めて 1 ヶ月程度の事故で乱取により起こったものです。

本連盟はホームページでも「柔道の安全指導」「大外刈り段階的指導手順例」「柔道練習ステップ」などの初心者指導の注意点を提示しています。これらを再確認していただき、地域指導者の全ての方に安全指導の徹底をお願いいたします。

1. 初心者には 3 ヶ月程度は乱取、高い位置からの投げ込みの受けを行わせない。(大外刈り段階的指導手順例の確認)
2. 頭部外傷は初心者の乱取や投げ込みで起こる傾向があり、頸椎損傷は試合、練習試合で多く起こっている。安全な技の掛け方を徹底する。
3. 中高年者の頭部打撲、絞め技による脳梗塞などにも十分注意する。

以上の 3 点を周知徹底していただくようお願い申し上げます。